

令和4年度 第7回  
栃木西部地域会議会議録

令和4年11月15日(火)  
栃木市吹上公民館 大交流室

栃木西部地域まちづくりセンター

## 別記様式

## 会 議 録

会議の名称	令和4年度 第7回栃木西部地域会議
開催日時	令和4年11月15日(火) 18時30分 開会 20時20分 閉会
開催場所	吹上公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
会長	<p><b>1 開会</b></p> <p style="text-align: center;">—— 開会 ——</p> <p><b>2 あいさつ</b></p> <p style="text-align: center;">— 寺内会長あいさつ —</p>
事務局	<p><b>3 議事</b></p> <p>(1) 栃木西部地域未来ビジョンの策定について</p> <p>&lt;説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料1-2は前回の会議を受けて委員より個別にいただいた意見をまとめたもの。</li> <li>・ 資料1-1は資料1-2の内容を受けて、事務局案としてまとめたもの。</li> </ul> <p style="text-align: center;">—— 資料1-1、資料1-2に基づき説明 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I. 地域の概要は原案のまま。</li> <li>・ II. 地域の魅力・課題は、魅力の部分について追加で提出する。</li> <li>・ III. 未来の姿(まちづくりのテーマ)は、魅力を追加した結果、多少の変更はあるかもしれないが、基本的には3つ程度のカテゴリでまとめる。</li> <li>・ III. 未来の姿(キャッチコピー)は、まちづくりのテーマを括るもの。四択に絞り込んだ。意見を追加提出し、2月までに最終決定する。</li> </ul> <p>&lt;意見・質問&gt;</p>

	<p>II. 地域の魅力・課題</p>
会長	<p>空き家対策はまちづくりの一環でやっているものだが、西部地域全体の空き家を少ない人数の委員でまとめるとなれば大変である。どのような組織を作ってやっていけばいいのか。市でも早めの対策が必要だと思うが。</p>
事務局	<p>地域未来ビジョンで挙げた課題を栃木西部地域会議の委員で全て解決しなければいけないというものではない。あくまで問題提起。地域の特性としていい点があれば、問題点もあるということが分かれば良い。</p>
副会長A	<p>魅力と課題は相反する意味の言葉だと思うが、どれが魅力でどれが課題に該当するか。</p>
事務局	<p>意見を提出いただいた結果、魅力の部分が少なくなってしまった。</p>
副会長A	<p>魅力の部分が少ないような気がする。課題と思われる文言でも魅力があることが分かる言葉に変えてはどうか。</p>
事務局	<p>委員の皆さんがそれぞれに問題意識を持っていただいた結果、地域を心配する意見が多くなってしまった。</p> <p>未来ビジョンの最終的な決定は2月の地域会議になる。まだ時間があるので、魅力について皆さんから意見を出してもらいたい。既に出された意見はある意味、裏表である。いいことであるからこそ「こういうところが心配だ」とか、地元で当たり前に見えているからこそ、問題点が目についてしまうといったことがあると思う。冷静に見たり、他の地域から見たりすると「そもそもそれが良い」と思われることもあると思う。</p> <p>それらを事務局で取りまとめ、魅力として挙げるべきところと、課題として挙げるべきところを整理し、分かりやすく表現するようにしたいと思う。</p> <p>本日、追加の提案シートを作成し、委員に配布する。</p>
委員A	<p>地域の魅力といっても3地区共通の魅力を出すとなると難しい。自分が住む地域の魅力（寺尾なら寺尾地域の魅力）を出してもよいが。</p>
事務局	<p>事務局がまとめた結果、表現上は一緒になってしまうことはあるかもしれないが、自分の地域の自慢を出してもらえれば構わない。</p>
委員B	<p>少子化対策のあとに小中学校の適正な配置を挙げるなど、似たような課題をまとめてカテゴリを分類した方が、見る側は分かりやすいと思う。</p>
事務局	<p>分かりました。大きなくくりで言えば、①、③をはじめとする産業分野、②、⑤、⑨あたりが該当する子どもに関する分野、そして防災分野となるのではないかと。</p>

	<p>一方で、魅力的な部分や強調していききたい部分を加え、カテゴリを分けていききたいと思う。</p>
会長	<p>地域の魅力や修正点、カテゴリの分類をまとめた修正案を作成し、2月の会議で最終決定したいと思う。</p>
会長	<p>Ⅲ. 未来の姿（まちづくりのテーマ） まちづくりのテーマは3つに絞らないといけなから。</p>
事務局	<p>3つに絞る必要はない。さらに追加することも可能。</p>
委員C	<p>地域の魅力・課題に関する提案シートがこれから追加で配られるとのことだが、それを基に未来の姿が変わってくることも考えられるか。</p>
事務局	<p>これで決定ではないので、強調すべきものがあれば盛り込んでいく。魅力部分をより分かりやすく表現していきたい。</p>
委員C	<p>課題的なものが散りばめられていると思うが、新しい提案が出てきたら、それらも上手くまとめてもらいたい。</p>
委員D	<p>方向性が見えるようにするべき。何を狙っているのか。例えば、安心・安全に関する意見が（資料1-2において）①でも③でも出ており、それぞれ意味していることが違うのかもしれないがスッキリしない。</p>
事務局	<p>資料1-2のⅢ. 未来の姿にはいろいろな意見が出ており、①と③に「安心」という言葉が出ているが、これは考えていく過程を整理したものであるのであまり気にしないで良い。 （テーマの原案となる）資料1-1のⅢ. 未来の姿の①には「安心・安全」という言葉は入っていない。資料1-1ができあがった事務局案となるのでそちらを中心に見てもらいたい。 追加提案として、地域の魅力・課題のうち、魅力の部分について考えていただくが、未来の姿についても意見・疑問点があれば出していただきたい。 今回はあくまでも前回会議で委員の皆様をお願いした宿題を事務局でまとめて示している。今日、新しくいただいた意見を事務局でまとめて、皆様にお示しする。2月までは文書での照会になるかもしれないが、委員の皆様の見解と事務局でまとめた案のキャッチボールをしながら最終案をまとめていく。</p>
副会長B	<p>Ⅲ. 未来の姿（キャッチコピー） 覚えやすいものが良いと思う。個人的には「ふるさと元気！生き！粋！西部地域！」は勢いがあり、覚えやすいと感じた。</p>

副会長A	「やっぱりこのまち 西部地域」にちょっと付け加える形もあり。
事務局	西部地域を他の地域に読み替えたにも関わらず普通に通じてしまうのは面白くないと思うので、語呂がいいといった部分も含めて審議していただきたい。
委員E	「ふるさとは元気！生き！粋！西部地域！」とあるが、ふるさとが西部地域でない人もいると思う。他の地域から引っ越してきた人も一定数いる。
事務局	この場合の「ふるさと」は出自を問うようなものではなく、地元で近しく感じるという広い意味で捉えてもらえればいいと思う。
委員D	西部地域は栃木市の中でも豊かな自然がある地域なので、2つの案を組み合わせせて「豊かな自然と共生し 元気！生き！粋！西部地域！」というのもいいのではないか。
事務局	<p>地域の魅力を追加で出してもらうのと同時に案を絞った上でキャッチコピーについての意見もいただきたいと思う。</p> <p>キャッチコピーの候補は「ふるさとは元気！生き！粋！西部地域！」、「豊かな自然と共生し 元気！生き！粋！西部地域！」、「やっぱりこのまち 西部地域」の3つにフリーの自由記載を加えて四択にする。あらためて検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p><b>(2) 令和4年度 栃木西部熟くり塾の事業内容について</b></p> <p>&lt;説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシを全戸（広報とちぎに折込み）と学校（児童・生徒）に配付予定。</li> <li>・公民館が申込みの窓口となる。</li> <li>・チラシのレイアウトを工夫する。（第2回以降の申し込みができる参加申込書にする。参加申込書を切り取って提出したあとも講座の内容を確認できるようにする。）</li> </ul> <p style="text-align: center;">—— <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料2</span>に基づき説明 ——</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回のタイトルはカルタ「大会」ではなくカルタ「遊び」にする。</li> <li>・時間は予定の2時間半より短くする。</li> <li>・開催方法について委託先と改めて検討をする必要がある。特に募集の方法と定員について。</li> </ul> <p>&lt;意見・質問&gt;</p> <p>申込みは先着順か抽選か。</p>
会長	

事務局	先着順で考えている。地域ごとの枠は設けたい。
委員E	参加者は当日急遽の欠席者を見越して余裕をもって+ $\alpha$ の人数は必要だと思う。
委員D	第1回の開催が1月であるが、実施方法について再度決める場を設けるのか。今回のチラシ（案）の情報だけではどのように開催するのかよく分からない。
事務局	開催方法については相手方に委託している部分であるので、こちらのリクエストを反映してもらう形になる。委員の皆様には細かくルールを決めてもらうことまでは考えていない。
委員D	カルタ「大会」とすると優勝争いなど、大々的になってしまうと思う。カルタ「遊び」やカルタ「会」といった表現にしてはどうか。
事務局	カルタ「遊び」に修正する。
委員E	例えば子ども2人と保護者2人で参加となった時に参加枠は4人分埋まることになるのか。それだとすぐに埋まってしまう可能性はないか。大人と子どもは人数を別に考える必要があるのではないか。
事務局	細かい部分を詰めていないのが正直なところ。原則、子どもは小学生以上を対象として、保護者を人数としてカウントするかどうかは迷うところ。
委員E	民話は参加せずに、カルタ遊びにだけ参加したいという人もいるかもしれないが、その場合はどうするのか。いろいろなパターンを想定して、柔軟な対応をしていく必要があると思う。
委員F	時間が13時30分から16時となっているが、そんなに長い時間は子連れだと難しいのではないか。民話とカルタのタイムスケジュールをしっかりと決めておく必要がある。
委員G	民話だと子どもが聞いてられるのはせいぜい1話3分。5分だと飽きてきてしまう。短い民話をいくつもやる方が良い。
委員F	親が民話を聞いている間、子どもたちがカルタ遊びをするといった形式も考えられる。
委員E	民話はどちらかといえば大人向けの話か、子ども向けの話か。

委員G	民話はおそらく子ども向けに作ってきてもらえると思う。
事務局	<p>もともとこのテーマは各地域でカルタを作ったということから始まっているので、子ども中心で行っていいと思う。民話も子ども向けにアレンジしてもらおう。</p> <p>時間は長すぎるので、短くする方向で調整する。</p> <p>また、会場が密にならないようにする必要があるので、定員を少なくしたうえで募集対象を子どもとするのはいかがか。</p>
委員E	子どもしか行けないとなると、保護者も考えてしまうと思う。
副会長A	やはり子どもに限定せずに親子の方が良いのではないか。
委員D	事前にある程度やり方を決めておいて、細かいところは申込みの締め切り後に人数が確定してからでもよいのでは。実際、どのくらいの人数が集まるか分からない。
委員H	過去に熟くり塾を開催して定員がオーバーすることはあったのか。
事務局	<p>概ね埋まることはあったものの、定員を超えることはなかったと思う。</p> <p>ただ、今回は和室と中会議室を使用するので、人数を制限する必要が出てくる。それぞれの地区に参加枠を平等に割り振ることも考慮する必要がある。</p> <p>子どもを保護者が連れてくることを考えれば、1地域あたり10組くらいの募集になるか。(子ども数人に対して保護者が1人として)</p> <p>実施形式について、どのようなイメージか詰めていない。詰めた結果をもとに会長と副会長に相談させてほしい。</p>
事務局	<p><b>4 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域未来ビジョン 提案シート(追加)を配付 12月9日(火)までに各公民館へ提出すること。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木西部地域会議だより 第14号の発行について</li> </ul> <p style="text-align: center;">—— 資料3に基づき説明 ——</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回栃木西部地域会議について 令和5年2月21日(火)18時30分から 寺尾公民館にて開催予定</li> </ul>

門沢委員	<p>・門沢イミ子委員退任あいさつ</p> <p>11月末の民生委員改選に伴い民生委員児童委員協議会選出の門沢委員が退任する。後任の委員は12月以降に決定となる。</p> <p style="text-align: center;">—— 門沢イミ子委員あいさつ ——</p>
副会長B	<p>・皆川中・吹上中・寺尾中合同地元代表者会議について（報告）</p> <p>中学校の統合に関する報告。各地区において説明会がおこなわれた。</p> <p>11月1日（火）が寺尾地域、4日（金）が皆川地域、10日（木）が吹上地域でおこなわれた。それぞれ参加者は30名～40名程度だったと記憶している。次回の会議は11月30日（水）皆川公民館で午後7時から開催される。全ての会議は傍聴できるので、都合のつく方は来て欲しい。</p>
副会長B	<p>・宮スケート場について</p> <p>11月14日（月）に吹上地区まちづくり協議会の役員会が開催され、宮スケート場の開場スケジュールをおおかた決めた。1月第2日曜日からはじまり、土日祝日、土曜日に関してはナイターもおこなう予定である。</p> <p><b>5 閉会</b></p> <p>〈以上、何も無いことを確認〉</p> <p style="text-align: center;">—— 閉会 ——</p> <p style="text-align: center;">（会議終了時刻 20時20分）</p>

別紙1 出席者及び事務局

〈出席者（委員）〉

会 長	寺内 茂	副会長	酒卷 幸夫
副会長	中島 元一	委 員	門沢 イミ子
委 員	厚木 秀夫	委 員	正田 秀雄
委 員	石沢 恵一	委 員	棚橋 利行
委 員	鈴木 加織	委 員	福島 恵子
委 員	羽金 勝子		
委 員	峰岸 晃一		

〈欠席者（委員）〉

委 員	関口 みよ子	委 員	吉羽 克仁
委 員	吉田 美奈子		

〈事務局〉

栗田 寿樹	(栃木西部まちづくりセンター所長)
篠崎 雅一	(寺尾公民館館長)
石沢 竜次	(吹上公民館主任)

## 別紙2 会議事項及び配付資料一覧

### <会議事項>

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 栃木西部地域未来ビジョンの策定について
  - (2) 令和4年度 栃木西部熟くり塾の事業内容について
- 4 その他
  - ・ 栃木西部地域会議だより 第14号の発行について
  - ・ 第7回栃木西部地域会議について
- 5 閉 会

### <配布資料一覧>

- ・ 栃木西部地域未来ビジョン（案） 資料1-1
- ・ 提案シートにて出された意見 資料1-2
- ・ 栃木西部熟くり塾 チラシ（案） 資料2
- ・ 地域未来ビジョン 提案シート（追加）
- ・ 栃木西部地域会議だより 第14号（案） 資料3